

千葉市美術館館長の交代について

千葉市美術館では、現館長の河合正朝氏が令和3年3月31日をもって退任することとなり、4月1日から新館長として、東京文化財研究所副所長 山梨絵美子氏を迎えることとなりましたので、お知らせします。

1 新館長について

(1) 氏名等

やまなし えみこ
山梨 絵美子 氏 (1958年 秋田出身)

(2) 略歴

独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所 副所長
東京都美術館運営委員会委員、千葉県文化財保護審議会委員ほか

(3) 専門分野

日本近代美術史。高橋由一、小林清親、黒田清輝など近代日本の洋画に詳しく、日本近代美術史を専門として研究され、多くの美術館の収集審査委員、運営委員を務めるなど、美術全般に精通されている。

なお、国立文化財機構東京文化財研究所に永く勤務され、副所長を務めるなど、各美術館等との間に幅広いネットワークも有している。

(4) 主要著書

『高橋由一と明治前期の洋画』(至文堂「日本の美術」349)

『小林清親と明治の浮世絵』(至文堂「日本の美術」368) ほか

(5) 企画・監修の主な展覧会

『没後100年記念東京国立博物館所蔵高野コレクション 浅井忠展』2005年 日本橋高島屋ほか
『生誕150年 黒田清輝展』2016年 東京国立博物館



山梨 絵美子 氏

2 現館長について

(1) 氏名等

かわい まさと
河合 正朝 氏 (1941年 東京出身)

(2) 任期

平成24年4月1日～令和3年3月31日 (9年)

(3) 略歴

慶応義塾大学名誉教授

(4) 館長としての活動実績

美術館のリニューアルを成し遂げ、常設展示室の新設、体験できる諸室の整備など、鑑賞だけではなく、市民が気軽にアートに触れる、表現することができる新たな美術館を作り上げた。

専門の室町から江戸時代の絵画展では、自身が過去に監修し、他館で実施されたドラッカーコレクションを、平成27年度に「ピータードラッカーコレクション展」として実施する一



河合 正朝 氏

方、令和元年度最後の企画展であり、SNSで話題となった「目展」を成功させるなど、現代美術などの幅広い分野の企画にも力を入れ、学芸員の意欲的な取り組みを最大限に生かして成果を上げている。

令和2年7月の美術館リニューアルを見届けたことを機に、館長を退任。信頼を寄せる山梨絵美子氏による新たな千葉市美術館の展開を希望されながら、今後も日本美術の普及に努める。

3 お披露目式について

- (1) 日 時
令和3年2月22日（月） 11：00～11：30
- (2) 場 所
市役所3階 第一会議室
- (3) 出席者
千葉市長
千葉市美術館 新館長 山梨 絵美子 氏
千葉市美術館 現館長 河合 正朝 氏